

平成21年(2009年)

No,30

谷藤EYE通信

URL <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tanieye/>



2009年2月院長撮影

岩手 県北の名刹 天台寺近くの集落

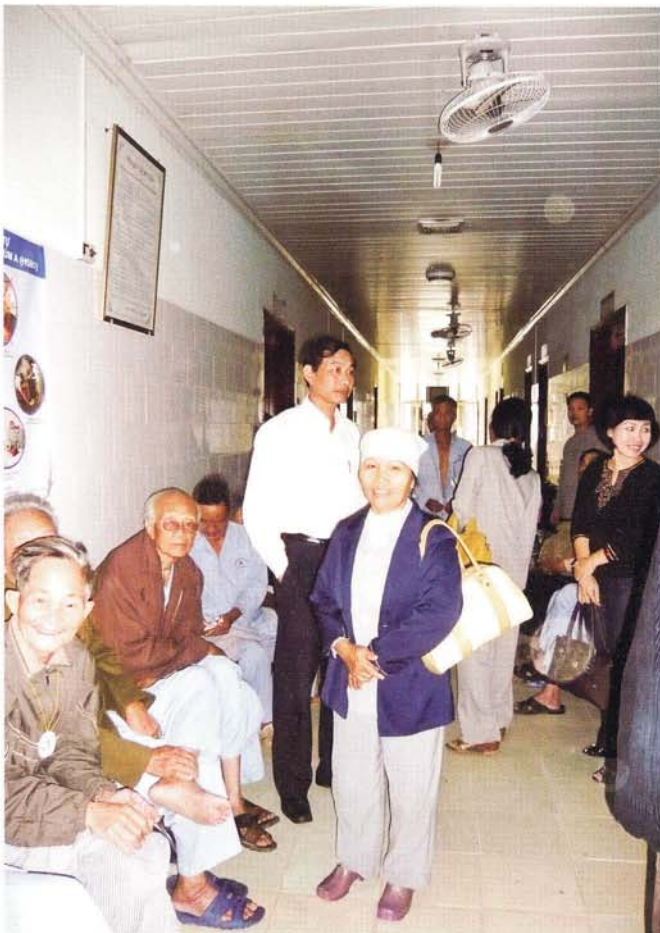
骨組みのしっかりした萱ぶき屋根直屋がただ一軒残っていた

院長 谷藤泰寛

医療法人泰明会 谷藤眼科医院

ベトナムドキュメント

医師 寺井典子



当院にて網膜硝子体手術を執刀されている服部匡志先生をたずね、2008年11月3日から7日間ベトナムを訪れました。

約一週間の滞在で訪れた病院は、首都ハノイの国立眼科病院、フレンドシップ病院、さらに地方都市のハイフォンの病院、ティンクワン病院と数多くです。国立眼科病院では、内視鏡を用いた硝子体手術と超音波白内障手術を中心に活動されていました。

それほど複雑ではない硝子体手術は、先生が指導されたベトナム人医師が行い、現代の日本で見られる事が少なくなった難症例を中心に服部先生ご自身が手術を行っていました。

平日は国立眼科病院で一日中手術をした後、夕方はその他の病院での診察や手術に出かけています。先生の携帯電話や、先生に親しいベトナム人医師に診察や手術の依頼が殺到するので、毎日いろいろな病院を回ります。ベトナムに溶け込んで活動していることを強く感じました。

さらに週末は二泊三日で地方の都市へ、無償のボランティアでの白内障手術のために出かけます。私の滞在中には、ハノイから車で4時間程北に行ったティンクワン省で白内障手術を行いました。ティンクワン省には年に2回行っているプロジェクトだそうです。眼内レンズや手術器具を持ち込み、恵まれない方々を中心に手術を行います。活動に協力してくれるベトナム人



白内障患者



寺井Dr.による手術風景



現地の病室

の医師や、ボランティアで通訳をしてくれる方とともに地方の都市を巡回します。どこの場所でもだいたい60～100人の患者さん達が手術を待ちかねています。さらに休日返上で近隣病院の医師も手術の勉強や、お手伝いのために掛けつけます。私も白内障手術を行いました。皆真剣な眼差しでも緊張しました。英語すら通じない手術室で汗だくで手術をします。どの先生もベトナムの眼科医療を発展させ、患者さんを治したいという意思が強く伝わってきて身を引き締められました。

服部先生は現在ベトナムのハノイを中心に多くの地方都市で手術を行っています。さらにタイを始めとした周辺の国々にも出かけられ、活動は幅広く地域の医師、看護師、また政府関係者と良い関係をもたれています。これも先生の確かな手術技術と熱心なお人柄の賜物と実感いたしました。



現地のスタッフと（中央 寺井Dr.）

当院新設備の紹介



正面玄関の
自動ドア化



階段の昇降機設置

※階段の昇り降りの困難な
患者さんに使用します。



炭酸ガスレーザー手術装置
NIDEK COL-1015

※“眼瞼下垂手術”、“いぼ”などの切除に
使用します。(レーザー治療の利点は、出血や
術後炎症が少ないなどです)



お知らせ

4月16日(木)~19日(日) 第113回日本眼科学会総会(東京都); 谷藤院長出席予定

4月25日(土) 第322回岩手眼科集談会; 谷藤院長出席予定

報告

1月5日より看護師 松舘亜沙美入社

1月17日(土) 第321回岩手眼科集談会; 谷藤院長出席

1月23日(金)~25日(日) 第32回日本眼科手術学会(神戸市); 谷藤院長・篠村看護部長出席

No.30: 平成21年(2009年)1月・2月・3月号



医療法人泰明会 谷藤眼科医院

〒020-0127 岩手県盛岡市前九年2丁目2-38

TEL:019(646)2227 FAX:019(645)3811